

Panasonic

無線LANアダプター

取扱説明書

品番 **BB-HGA310**



このたびは、パナソニック「無線LANアダプター」をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付



- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用の前に

はじめに	4
● 特長	4
● 対応製品	5
● 必要なシステム	6
● 付属品	6
安全上のご注意	7
正しくお使いいただくためのお願い	11
● 無線通信の使用範囲について	13
● 電波に関するご注意	13
各部のなまえとはたらき	14
● インジケーターについて	15
ご使用になるまでの流れ	16

無線設定

無線情報を設定する【自動設定】	17
● 自動設定する (BB-HG2000と接続)	17
無線情報を設定する【手動設定】	19
● 手動設定する前に	19
● パソコンのIPアドレスを設定する	20
・ WindowsXPの場合	20
・ Windows2000の場合	22
・ WindowsMe/98SEの場合	24
● プロキシサーバーをご使用の場合	26
● メニュー画面にアクセスする	28
● 無線設定をする	30
● IPアドレス/MACアドレス引継を変更する	33
● 初期化する	35
● 設定内容を確認する	37

もくじ

接 続

ネットワーク機器に接続する40

- 本製品をネットワーク機器に接続する40
 - ・ 「Tナビ」 対応テレビに接続する41

その他

バージョンアップ42

壁に掛けて使う44

初期値 (工場出荷値) に戻す45

故障かなと思ったとき46

用語解説48

本製品の初期値 (工場出荷値)52

製品仕様53

保証とアフターサービス55

ご使用の前に

無線設定

接
続

そ
の
他

はじめに

特 長

BB-HGA310 (以下 本製品) は、以下の特長を持つ無線LANアダプターです。

■ イーサネット対応機器を手軽に無線^{※1}化

パソコンや「Tナビ」^{※2} 対応テレビ^{※3}、ブロードバンドレシーバー^{※4}などのイーサネットに対応した機器に接続することにより、簡単に家庭内ネットワークを無線化できます。

■ 無線自動設定機能（セキュリティ設定含む）

当社製ホームネットワークステーション「BB-HG2000」とイーサネットケーブルで接続することにより、本製品の無線設定、および、セキュリティ設定（WEP^{※5}設定）が自動的に設定されます。

■ 高感度外部アンテナ搭載

前後に±100°動かすことができる可動式アンテナを採用しています。アンテナの角度調整により良好な電波状況を維持できます。

■ Webサーバー機能（手動設定が必要な際）

Webサーバー機能により、専用ユーティリティソフトを必要とせずに、パソコンや「Tナビ」対応テレビで簡単に手動設定することもできます。

※1 データ転送速度は、ご使用のネットワーク環境により異なります。

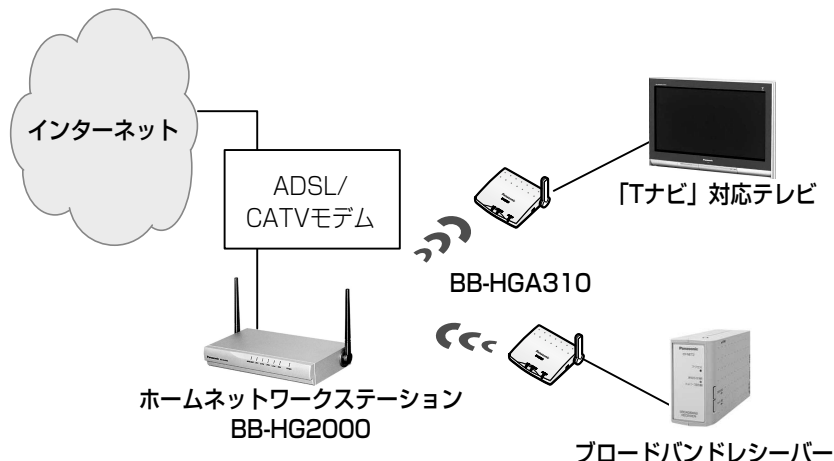
※2 ブロードバンド回線を使ったデジタルテレビ向けの生活情報ネットワーク・サービス

※3 松下電器産業株式会社製 品番 TH-32D30T、TH-36D30T

※4 松下電器産業株式会社製 品番 DY-NET2

※5 「WEP (Wired Equivalent Privacy) 64/128bit」

データを暗号化することにより、内容を知られないようにできます。



対応製品		
無線接続	ホームネットワークステーション ※	松下電器産業株式会社製 BB-HG2000
有線接続	「Tナビ」対応テレビ	松下電器産業株式会社製 TH-32D30T、 TH-36D30T
	ブロードバンドレシーバー	松下電器産業株式会社製 DY-NET2

※ 本製品は、当社製ホームネットワークステーションBB-HG2000をアクセスポイントとして使用することを推奨しています。
その他のアクセスポイントをご使用の場合は、お客様の責任において設定確認をお願いします。

本説明書に使用しているマークについて

-  参照するページを示します。
-  操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
-  便利な使い方やアドバイスなどの関連知識を記載しています。

【商標／登録商標について】

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。

【略称について】

- Windows® 98SEの正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Operating Systemです。(以下Windows98SE)
- Windows® Meの正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemです。(以下WindowsMe)
- Windows® 2000の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® 2000 Serverです。(以下Windows2000)
- Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはMicrosoft® Windows® XP Home Editionです。(以下WindowsXP)

はじめに

必要なシステム

ファームウェアの更新や本製品の無線情報を手動で設定する場合、パソコンのウェブブラウザから設定する必要があります。

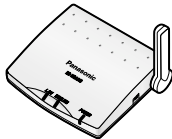
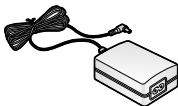
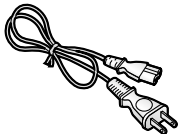
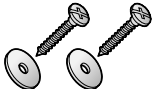
項目	Windowsパソコン
OS	Windows98SE、WindowsMe、Windows2000、WindowsXP
インターフェース	10/100Mbpsのネットワークカードが内蔵されていること
メモリー	64MB以上
プロトコル	TCP/IPプロトコルがインストールされていること
ウェブブラウザ	Internet Explorer 5.5以降



使用しているパソコンについて不明な点がございましたときは、お客様ご相談センターでは対応しかねますので、直接パソコンメーカーにお問い合わせください。

付属品

ご使用いただくまえに、本体と付属品・添付品を確認してください。
万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申しつけください。

● 本体 1台 	● ACアダプター 1個 (コード長 約1.8m) 	● ACコード 1本 (コード長 約55cm) 
● イーサネットケーブル ..1本 (ケーブル長 約1m) 	● 壁掛け用ネジ／ ワッシャー各2個 (ネジサイズ：タッピング ネジ呼び径3.5×18mm) 	● かんたんガイド 1部 ● 取扱説明書 1冊 ● 保証書 1式 ● ご愛用者登録の お願い 1部

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

ACコードやプラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



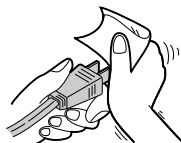
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

禁 止

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

警告

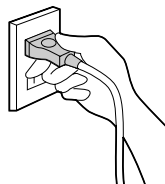
ACコードのプラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACコードのプラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

ACコードのプラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACコードのプラグを抜き差しするときはプラグ（金属でない部分）を持つ



感電の原因になります。

専用のACアダプター（極性統一形プラグ）以外は使わない



禁止

専用以外のACアダプターを使用すると、電圧や＋－の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の恐れがあります。

本製品やACアダプターから煙・異臭・異音が出たり、落下などにより破損したときは使用を中止する



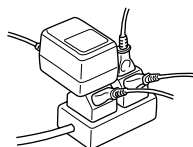
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- ACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



禁止



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

警告

ぬれた手でACアダプター
やACコードの抜き差しは
しない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

本製品およびACアダプター
をぬらさない



近くに花びん、コップ
などを置かないでくだ
さい。発火・感電の原
因になります。

水ぬれ禁止

- ぬらした場合は、ACアダプター
を抜いて販売店へご相談ください。

絶対に分解したり、修理・
改造をしない



故障したり火災・感
電の原因になります。

分解禁止

- 修理は販売店へご相談ください。

雷が鳴ったら本製品やAC
アダプターに触れない



感電の原因になりま
す。

接触禁止

落下させたり、強い衝撃を加
えない



けがや故障の原因にな
ります。

禁 止

医用電気機器の近くでの設
置や使用をしない



手術室、集中治療室、
CCU*などには持ち込
まないでください。

禁 止

心臓ペースメーカーの装着
部位から22cm以上離す



電波によりペースメー
カーの作動に影響を与
える場合があります。

本製品からの電波が、医用電気機
器に影響を及ぼすことがあり、誤
動作による事故の原因になります。

*CCUとは、冠動脈疾患監視病室の
略称です。

警告

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くには設置しない



禁止

本製品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

本製品内部にクリップやピンなど金属物や異物を入れない



禁止

感電・故障の原因になります。

注意

ケーブルを引っぱったり、コネクター部やアンテナ部に無理な力を加えない



禁止

損傷や感電の原因になることがあります。

水平でない場所や振動の激しい場所には設置しない



禁止

落下により、けがの原因になることがあります。

本製品を壁に取り付けて使用するときは、堅固・確実に取り付ける



落下により、けがの原因になることがあります。

長時間使用しないときや、お手入れするときは、必ずACコードのプラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

漏電・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しない



禁止

感電・ショートや故障の原因になることがあります。

火気を近づけない



火気禁止

火災の原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房器の近くなどに設置しないでください。

（変形・変色または故障・誤動作の原因になります。）

本製品は、涼しくて湿気が少なく、なるべく温度が一定の場所に設置してください。

動作温度：5℃～40℃
動作湿度：20％～85％

ジャック内部に触れないでください。

（故障の原因になります。）

隣接して使用しているラジオなどの受信機から2m以上離してください。また、同一コンセントでご使用の場合は、コンセントを別にしてください。

（ラジオなどの受信機に雑音が入ることがあります。）

正しくお使いいただくためのお願い

お手入れの際は、電源を切ってください。

(誤動作の原因になります。)

乾いた柔らかい布でふいてください

(台所用洗剤 (中性) を水で薄め、柔らかい布に含ませ、固くしぼってふいてください。)

ベンジンやシンナー、研磨剤などを使って本製品をふかないでください。

(本製品が変形・変色することがあります。)

- 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。
- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
- 本製品のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の記載内容の一部、または全部を無断で転載することを禁じます。
- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

無線通信の使用範囲について

本製品と無線機器の距離が約50cm
～120m (屋内見通し距離)・
約50cm～600m (屋外見通し距離)
の範囲でお使いください

(無線機器の性能や周囲の環境によって
は、使用範囲が狭くなります。)

次のような機器と同時に本製品を使用
しないでください。

(電波が混信したり、誤動作の原因に
なります。)

- 特定無線局や移動通信機器のある屋内
- 電子レンジの近く
- 盗難防止装置など2.4GHz周波数帯域
を利用している機器のある屋内

本製品と無線機器の間に次のよう
な物体があるときは設置場所を変
更してください。

(電波を通しにくい物体が周囲にあ
ると通信ができなかったり通信速度
が遅くなる場合があります。)

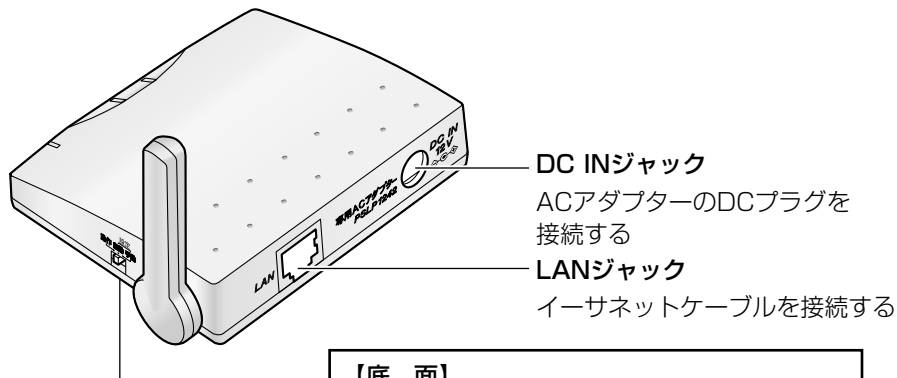
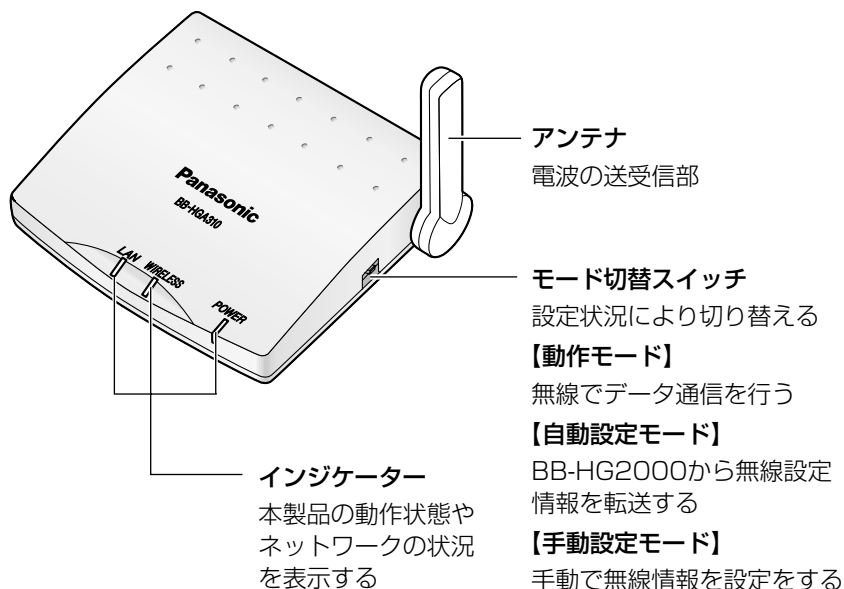
- 鉄のドア
- スチール棚
- コンクリート、石、レンガなどの壁
- 防火ガラス

電波に関するご注意

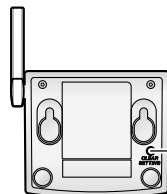
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、お客様ご相談センター（☎ 55～57ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談してください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、お客様ご相談センター（☎ 55～57ページ）へお問い合わせください。

各部のなまえとはたらき



【底面】



インジケーターについて

インジケーターは、本製品の動作状態やネットワークの状況を表示します。

インジケーター	モード切替スイッチ	内容
POWER	全てのモード	赤点灯 : 本製品に異常が発生しています。 本製品を再起動してください。
	動作モード	緑点灯 : 動作モードで動作しています。
	自動設定モード	オレンジ点灯 : 設定モードで動作しています。 緑点滅 : BB-HG2000との無線の自動設定が完了しています。(P. 18ページ)
	手動設定モード	オレンジ点灯 : 設定モードで動作しています。
WIRELESS	動作モード	緑点灯 : 無線端末と接続しています。 緑点滅 : 無線でデータ通信しています。
	自動設定モード	緑点灯 (点滅) : BB-HG2000との無線の自動設定が完了しています。(P. 18ページ)
	手動設定モード	緑点灯 : 無線端末と接続しています。 緑点滅 : 無線でデータ通信しています。
LAN	全てのモード	緑点灯 : 有線端末と接続しています。 緑点滅 : データ通信しています。



- 本製品の起動時は、POWERインジケーターが約5秒間赤に点灯します。
- CLEAR SETTINGボタンを押したときは、POWERインジケーターがオレンジに点滅します。(P. 45ページ)
- WIRELESSインジケーターが点灯(点滅)していても、WEPキーの入力が間違っているとデータ通信ができないことがあります。(P. 31ページ)

ご使用になるまでの流れ

無線情報を設定する

■ 当社製ホームネットワークステーション BB-HG2000をご使用の場合 (☞ 17ページ)

BB-HG2000に接続するだけで、無線の自動設定を行います。

■ BB-HG2000以外の無線アクセスポイントを ご使用の場合 (☞ 19ページ)

本製品をパソコンに接続し、パソコンのウェブブラウザから設定してください。

有線ネットワーク機器に接続する

本製品を有線ネットワーク機器に接続します。(☞ 40ページ)

下記操作は本製品をパソコンに接続し、パソコンのウェブブラウザから操作します。

■ 無線設定情報を確認する

(☞ 37ページ)

■ バージョンアップ (ファームウェアを更新) する

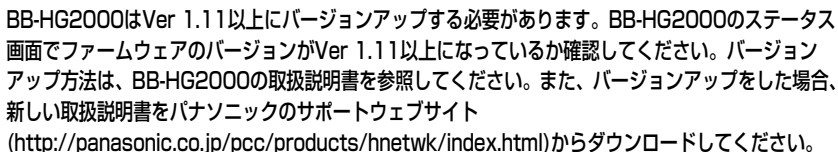
(☞ 42ページ)

本製品のメニュー画面にアクセスするには、パソコンのIPアドレスを手動で設定する必要があります。(☞ 20～25ページ)

本製品のメニュー画面にアクセスする前に、設定しているIPアドレスをメモして、本製品のメニュー画面での設定終了後、IPアドレスを元に戻してください。

ご使用の前に

無線設定

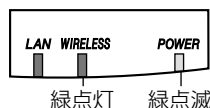


① BB-HG2000の電源を入れる

17

無線情報を設定する【自動設定】

WIRELESSインジケーターが緑に点灯し、
POWERインジケーターが緑に点滅すれば
無線自動設定完了です。



- 6 本製品の電源コードを抜く
- 7 BB-HG2000からイーサネットケーブルを抜く
- 8 モード切替スイッチを「動作」に切り替えてネットワーク機器に接続する (接続のしかた ➤ 40ページ)



- 自動設定がうまくいかない場合は、本製品とBB-HG2000の電源を切り、再度設定を行ってください。

必ず本製品のモード切替スイッチが「自動」になっているのを確認してからBB-HG2000のLANジャックにイーサネットケーブルを差し込んでください。「動作」モードで接続すると無線通信ができなくなります。

→ 間違えて「動作」モードで接続した場合は、両機器からイーサネットケーブルを抜き、再度、初めから無線情報の自動設定を行ってください。(➤ 17ページ)

無線情報を設定する【手動設定】

BB-HG2000以外の無線アクセスポイントをご使用の場合は、無線情報を手動で設定してください。

手動設定する前に

- あらかじめ、ご使用のアクセスポイントの無線設定情報※をメモしておいてください。

※ 本製品の設定に必要な無線設定値：

SSID、暗号化(WEP)、WEP認証方式、WEPキーサイズ、標準キー、WEPキー1～4
(無線設定情報の参照のしかたは、ご使用のアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。)

- 設定で使用するパソコンのIPアドレス、サブネットマスクを下記のように入力してください。

IPアドレス：192.168.0.100または192.168.0.200

サブネットマスク：255.255.255.0

設定のしかた

- WindowsXPをご使用の場合  20ページ
- Windows2000をご使用の場合  22ページ
- WindowsMeをご使用の場合  24ページ
- Windows98SEをご使用の場合  24ページ

- ご使用のパソコンがプロキシサーバーを使用しているときは、プロキシサーバーを使用しないように設定変更してください。( 26ページ)



- 無線情報を設定終了後、IPアドレス、サブネットマスク、プロキシサーバーの設定は元に戻してください。
- IPアドレスを固定してご使用の場合は、必ず設定値をメモしてください。

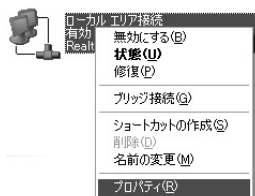
無線情報を設定する【手動設定】

パソコンのIPアドレスを設定する

■ WindowsXPの場合

WindowsXPは「Administrator」または同等の権限を持つユーザー名でログインする必要があります。(詳細はOSの取扱説明書をお読みください)

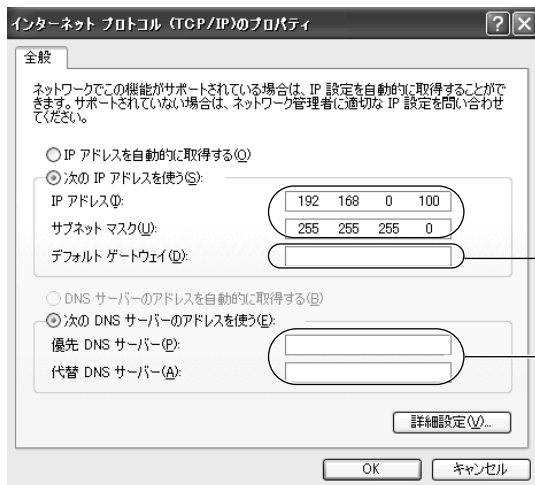
- 1 「スタート」メニューの「マイ コンピュータ」から「マイ ネットワーク」を選ぶ
- 2 「ネットワーク接続を表示する」を選ぶ
- 3 「ローカル エリア接続」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「プロパティ」を選ぶ



- 4 「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選び、
プロパティ をクリックする



- 5** 「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレス
192.168.0.100 (または192.168.0.200) とサブネット
マスク (255.255.255.0) を入力する



- デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。

- 6** **OK** をクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」のウィンドウを閉じる

- 7** 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する (28ページ)

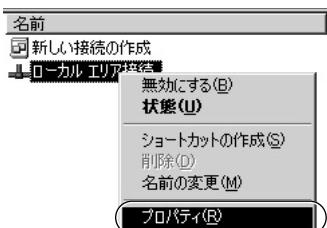
プロキシサーバーをご使用の場合は、26ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

無線情報を設定する【手動設定】

■ Windows2000の場合

Windows2000は「Administrator」または同等の権限を持つユーザー名でログオンする必要があります。(詳細はOSの取扱説明書をお読みください)

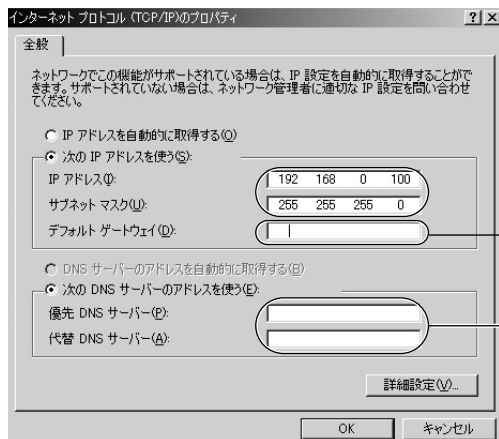
- 1 「マイ ネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ
- 2 「ローカル エリア接続...」アイコンを右クリックし、「プロパティ」を選ぶ



- 3 「インターネット プロトコル (TCP/IP)」を選び、
「プロパティ」をクリックする



- 4 「次のIPアドレスを使う」を選択して、IPアドレス
192.168.0.100 (または192.168.0.200) とサブネット
マスク (255.255.255.0) を入力する



- デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。

- 5 **OK** をクリックし、「ローカル エリア接続のプロパティ」のウィンドウを閉じる

- 6 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する (28ページ)

プロキシサーバーをご使用の場合は、26ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

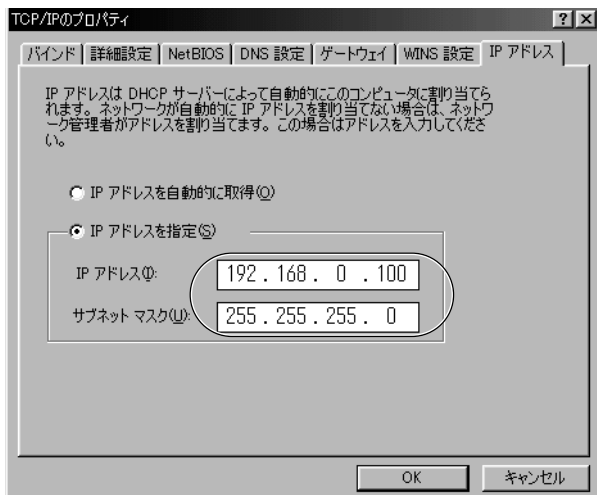
無線情報を設定する【手動設定】

■ WindowsMe/98SEの場合

- 1 「スタート」メニューの「設定」から「コントロールパネル」を選ぶ
- 2 「ネットワーク」アイコンをダブルクリックする
 - WindowsMeを使っていて、ネットワークアイコンが見えない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。
- 3 ネットワークカードに対応したTCP/IPを選び、ネットワークダイアログボックスの **プロパティ** をクリックする



- 4 「IPアドレス」タブをクリックし、「IPアドレスを指定」を選択して、IPアドレス**192.168.0.100**（または**192.168.0.200**）とサブネットマスク（**255.255.255.0**）を入力し、**OK** をクリックする



- デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーの設定は変更する必要はありません。
- IPアドレスの設定を変更した場合、再起動を促すメッセージが表示されます。
はい をクリックして、パソコンを再起動してください。

- 5 本製品のメニュー画面にアクセスして、無線情報を設定する (28ページ)

プロキシサーバーをご使用の場合は、26ページの「プロキシサーバーをご使用の場合」に進んでください。

無線情報を設定する【手動設定】

プロキシサーバーをご使用の場合

プロキシサーバーを経由してインターネットに接続している場合、本製品のメニュー画面にアクセスすることはできません。

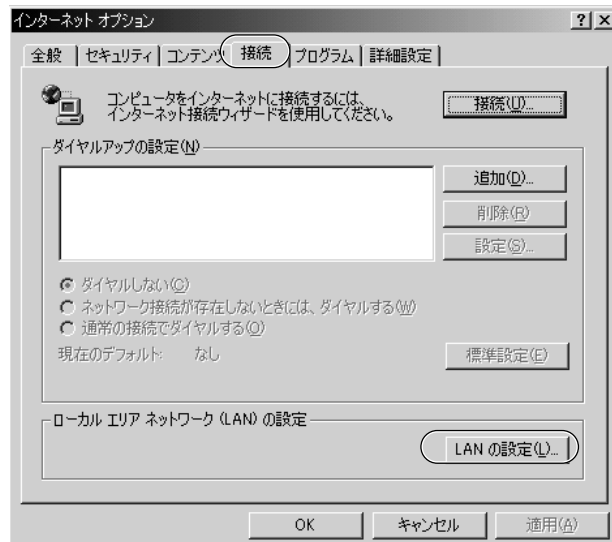
次の手順に従ってウェブブラウザの設定を変更してください。

【Internet Explorer 5.5の場合】

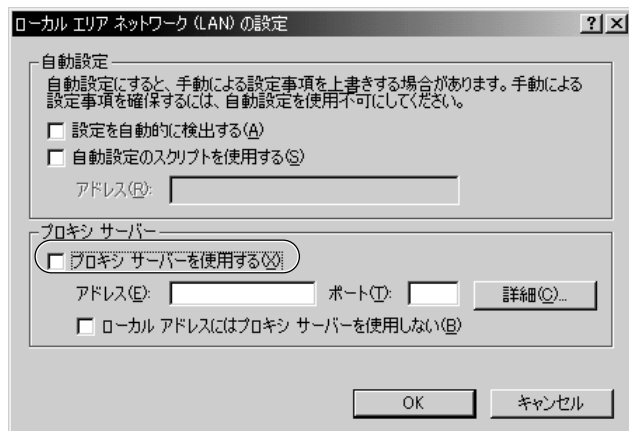
- 1 ウェブブラウザを起動する
- 2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ



- 3 「接続」タブをクリックし、**LANの設定** をクリックする



4 ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定ダイアログボックスで、「プロキシ サーバーを使用する」のチェックボックスを確認する



- チェックボックスがチェックされていたら、チェックをはずして **OK** をクリックしてください。
- チェックボックスがチェックされていないだったら、**キャンセル** をクリックし設定を終了してください。



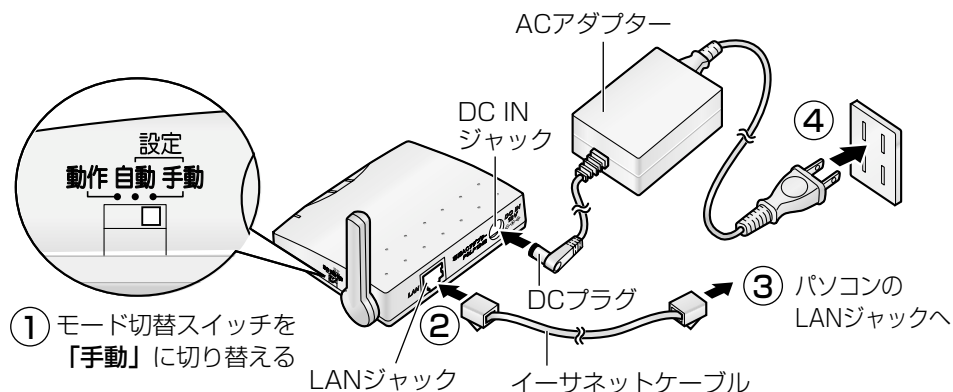
- 「プロキシサーバーを使用する」にチェックが入っている場合は、チェックをはずす前に、設定されているアドレスとポート番号をメモしてください。
無線情報の手動設定終了後は、「プロキシサーバーを使用する」にチェックを入れ、アドレスとポート番号の設定を元に戻してください。

無線情報を設定する【手動設定】

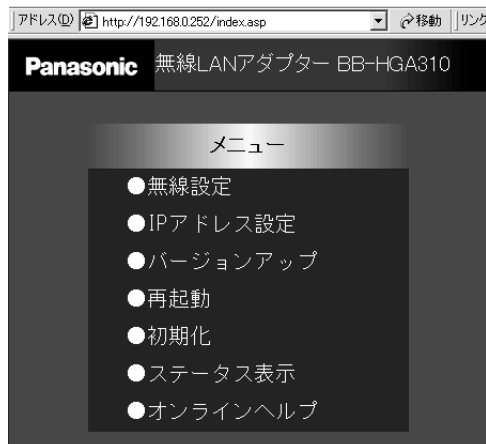
本製品のメニュー画面にアクセスするには、パソコンのIPアドレスを192.168.0.100または192.168.0.200、サブネットマスク255.255.255.0、プロキシサーバーを使用しないに設定変更する必要があります。(P. 20～27ページ)

メニュー画面にアクセスする

- 1 本製品のモード切替スイッチを「手動」に切り替える
→ 下記イラスト ① 参照
- 2 本製品のLANジャックに、添付のイーサネットケーブルのコネクターを差し込む
- 3 イーサネットケーブルのもう一方のコネクターをパソコンのLANジャックに差し込む
- 4 ACアダプターのDCプラグを本製品のDC INジャックに差し込み、ACコードを電源コンセントに差し込む



- 5** パソコンのウェブブラウザを起動し、アドレス枠に半角で
<http://192.168.0.252/> と入力し、 **Enter** を押す
 → 「メニュー」画面が表示されます。



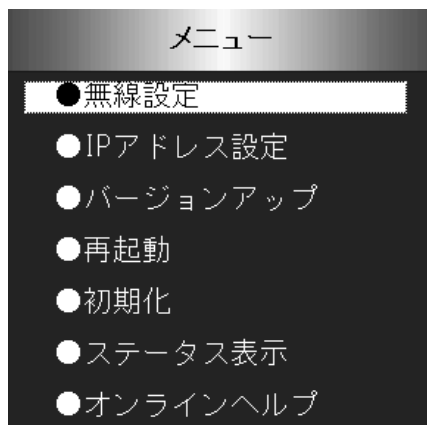
- **無線設定**
無線設定画面を表示します。(🔍 30ページ)
- **IPアドレス設定**
本製品のIPアドレス／MACアドレス引継機能の設定をします。
(🔍 33ページ)
- **バージョンアップ**
バージョンアップ (ファームウェアの更新) をします。(🔍 42ページ)
- **再起動**
本製品を再起動します。
- **初期化**
本製品の設定値を初期値 (工場出荷値) に戻します。(🔍 35ページ)
- **ステータス表示**
本製品の無線情報を表示します。(🔍 37ページ)
- **オンラインヘルプ**
ヘルプ画面を表示します。
- メニュー画面が表示されないときは、パソコンを再起動してください。



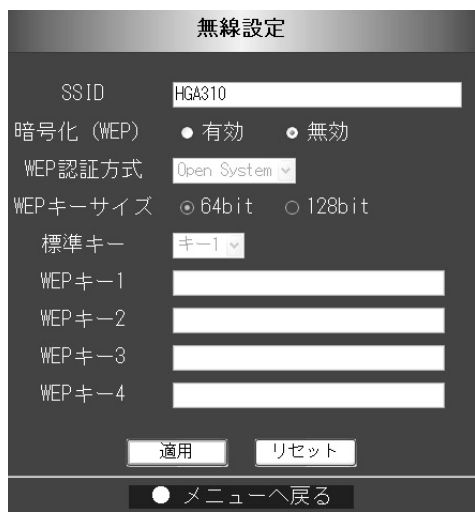
無線情報を設定する【手動設定】

無線設定をする

- 1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 28～29ページ)



- 2 「無線設定」をクリックする
●無線設定画面が表示されます。

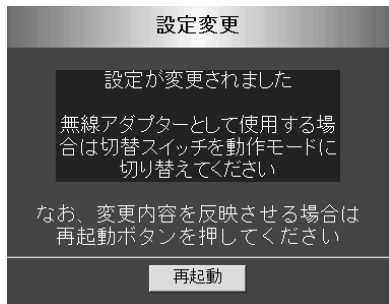


3 ご使用のアクセスポイントと同じ設定値を入力する

設定項目	設定内容
SSID	無線ネットワークグループの識別名です。 半角英数字記号1～32文字まで入力できます。(英字は大文字、小文字の区別があります。)
暗号化 (WEP)	無線LANのデータを暗号化して送受信する機能です。 ●セキュリティ上、WEP設定は「有効」に設定することをおすすめします。
WEP認証方式	アクセスポイントの設定に合わせて、Open SystemかShared Keyを選択してください。 ●無線情報を設定後、本製品を接続したネットワーク機器が無線接続できない場合は、認証方式を変更してください。
WEPキーサイズ	アクセスポイントの設定に合わせて、64bitか128bitを選択してください。
標準キー	使用する標準キーは、アクセスポイントと同じ標準キーを指定してください。
WEP1～WEP4	標準キーで選択したキーにアクセスポイントと同じWEP1～WEP4のキーデータを入力してください。 暗号化16進数入力で0～9、A～Fおよびa～fの入力ができます。 64bitの暗号化方式を選択した場合は、10桁入力してください。128bitの暗号化方式を選択した場合は、26桁入力してください。

4 入力が完了したら 適用 をクリックする

- 設定変更画面が表示されれば設定完了です。



無線情報を設定する【手動設定】

5 **再起動** をクリックして本製品を再起動する

無線LANアダプター BB-HGA310を再起動しています。

しばらくたってもトップページにジャンプしない場合は、
下記のURLをクリックしてください。

<http://192.168.0.252/>



- 再起動後、メニュー画面が表示されないときは、画面上に表示される <http://192.168.0.252/> をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、パソコンを再起動してください。

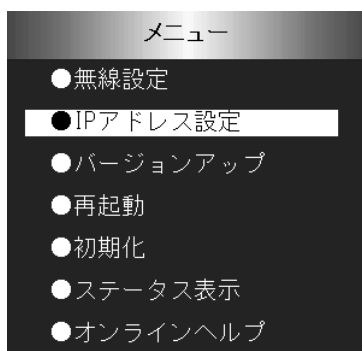
IPアドレス／MACアドレス引継を変更する

本製品のIPアドレス／MACアドレス引継を変更します。



- 通常、IPアドレス／MACアドレス引継の設定値を変更する必要はありません。特別に設定の必要がある場合のみ設定してください。

1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる (28～29ページ)



2 「IPアドレス設定」をクリックする

- IPアドレス設定画面が表示されます。



3 変更する「IPアドレス」を入力する



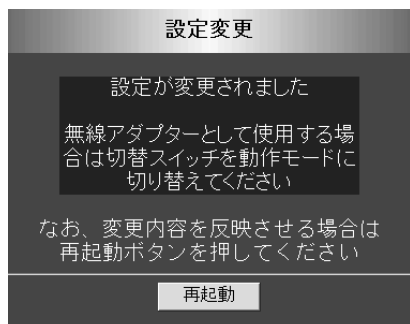
- ここで設定したアドレスが本製品内蔵のウェブサーバーのIPアドレスになります。変更後、本製品のメニュー画面は変更したIPアドレスでアクセスしてください。

無線情報を設定する【手動設定】

4 「MACアドレス引継」*の「有効」／「無効」を選択する

5 入力が完了したら **適用** をクリックする

- 設定変更画面が表示されれば設定完了です。



6 **再起動** をクリックして本製品を再起動する

* MACアドレス引継について

「有効」を選択すると、本製品に接続されたネットワーク機器のMACアドレスを使用して無線通信が行われます。

「無効」を選択すると、本製品のMACアドレスを使用して無線通信が行われます。

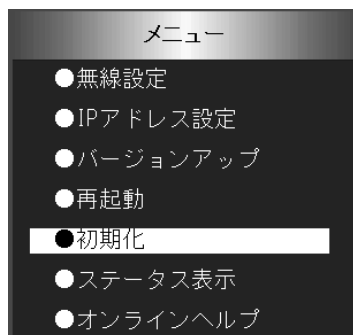


- 「MACアドレス引継」を「無効」に設定すると、一部のネットワーク機器で通信ができなくなる場合があります。

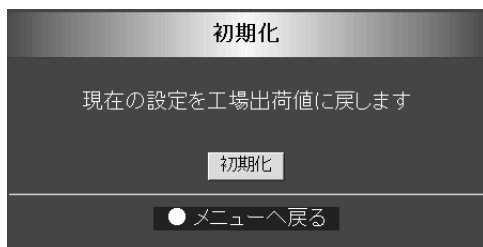
初期化する

本製品の設定値を初期値 (工場出荷値) に戻します。

- 1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 28～29ページ)



- 2 「初期化」をクリックする
●初期化画面が表示されます。



- 3 **初期化** をクリックする
●「初期化しています」の画面が表示されます。

無線LANアダプター BB-HGA310を初期化しています。

しばらくたってもトップページにジャンプしない場合は、
下記のURLをクリックしてください。

<http://192.168.0.252/>

無線情報を設定する【手動設定】

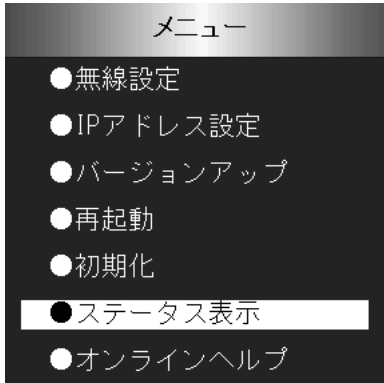
4 メニュー画面が表示されれば初期化完了です。



- **初期化** をクリックしてメニュー画面が表示されるまで約20秒かかります。
- 本製品底面のCLEAR SETTINGボタンを押して初期化することもできます。
(☞ 45ページ)
- 初期化中は、本製品およびパソコンの電源を絶対に切らないでください。

設定内容を確認する

- 1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
(☞ 28～29ページ)



- 2 「ステータス表示」をクリックする

- 無線情報表示画面が表示されます。



モニター
をクリック

- 電波状態モニター画面が表示されます。



次ページ
をクリック

- 機器情報表示画面が表示されます。



無線情報を設定する【手動設定】

【無線情報表示】

● 自動設定

自動設定モードで当社製BB-HG2000から無線設定情報を自動設定されたかどうか確認することができます。完了は過去に1度以上自動設定されたことを意味します。

自動設定後、手動設定モードで設定した場合や初期化を行うと未設定になります。

● SSID

無線ネットワークグループの識別名です。無線接続をグループ分けするためのものです。

● チャンネル

接続している無線チャンネルを表示します。1～14CHが表示されます。

● BSSID

接続しているアクセスポイントのMACアドレスを表示します。

● 暗号化 (WEP)

WEP機能 (暗号化) の「有効」／「無効」を表示します。

● WEP認証方式

使用するWEP機能の認証方式 (Open System/Shared Key) を表示します。

● 電波状態

電波強度 (「0～100%」の範囲で表示) および接続状態を表示します。  をクリックすると電波状態モニター画面が表示され、電波状態を5秒おきに表示します。

【機器情報表示】

● 機器ID

本製品の機器IDを表示します。

● ファームウェア

本製品の現在のファームウェアバージョンを表示します。

● IPアドレス

本製品のIPアドレスを表示します。このIPアドレスが、手動設定時のウェブブラウザでのアクセス先アドレスとなります。

● サブネットマスク

本製品のサブネットマスクを表示します。

- **MACアドレス**

本製品のMACアドレスを表示します。

- **MACアドレス引継**

MACアドレス引継が有効か無効かを表示します。

- **無線MACアドレス**

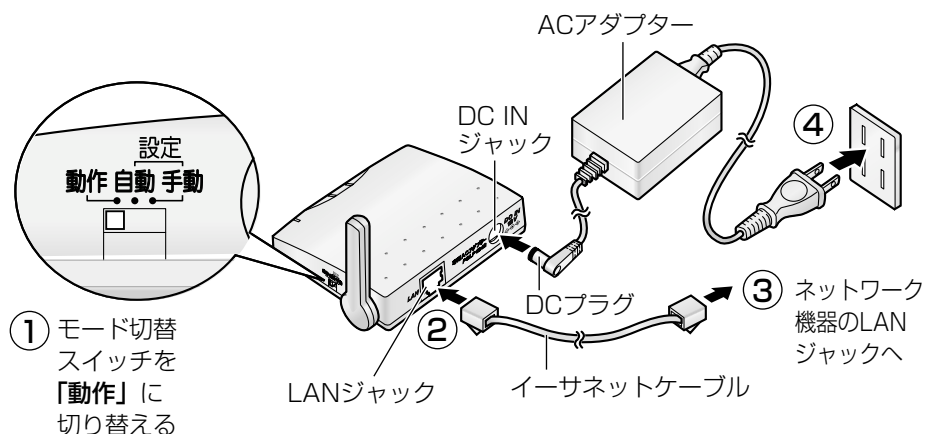
無線通信時に使用される送信側のMACアドレスを表示します。

MACアドレス引継有効時は、LANポートに接続している有線LAN機器のMACアドレスが表示されます。無効時は、本製品のMACアドレスが表示されます。

ネットワーク機器に接続する

本製品をネットワーク機器に接続する

- 1 本製品のモード切替スイッチを「動作」に切り替える
→ 下記イラスト ① 参照
- 2 本製品のLANジャックに、添付のイーサネットケーブルの
コネクタを差し込む
- 3 イーサネットケーブルのもう一方のコネクタをネットワーク
機器のLANジャックに差し込む
- 4 ACアダプターのDCプラグを本製品のDC INジャックに差し
込み、ACコードを電源コンセントに差し込む
- 5 最後にネットワーク機器の電源を入れる

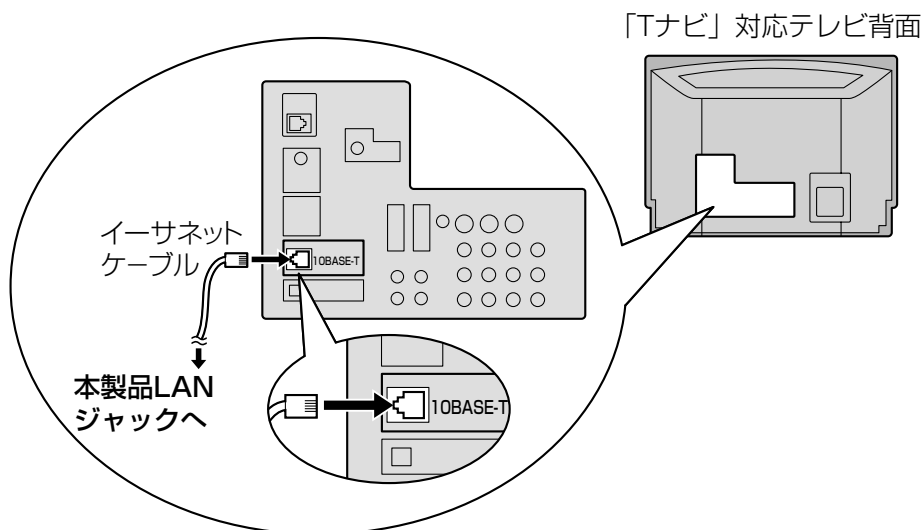


- 本製品と接続後にネットワーク機器の電源を入れてください
MACアドレス引継が有効の場合、本製品と接続する前にネットワーク機器の電源
を入れるとMACアドレスを引き継ぐことができません、無線通信ができません。

正しく設定、接続ができていれば、本製品を接続した有線
ネットワーク機器が無線で使用できます。

【接続例】

■ 「Tナビ」 対応テレビに接続する



- 本製品に接続できるネットワーク機器は1台のみです。
イーサネットハブを使用した複数のネットワーク機器への接続はできません。
- 無線の接続には時間がかかることがあります。

バージョンアップ

ファームウェアを更新します。

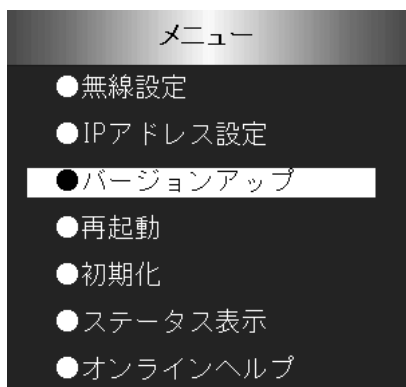
最新ファームウェアファイルは、パナソニックのサポートウェブサイト

<http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/>

から入手することができます。

更新を行う前に、最新のファームウェアファイルをパソコンにダウンロードしてください。

- 1 ウェブブラウザに「メニュー」画面を表示させる
( 28～29ページ)



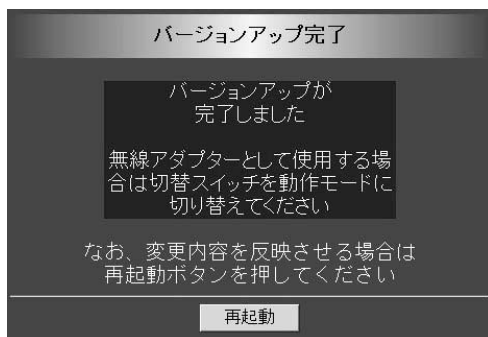
- 2 「バージョンアップ」をクリックする
●バージョンアップ画面が表示されます。



3 **参照...** をクリックして、ダウンロードしたファームウェアファイルを選択する

4 **開始** をクリックする

→ バージョンアップを開始します。
約30秒後、下記画面が表示されます。



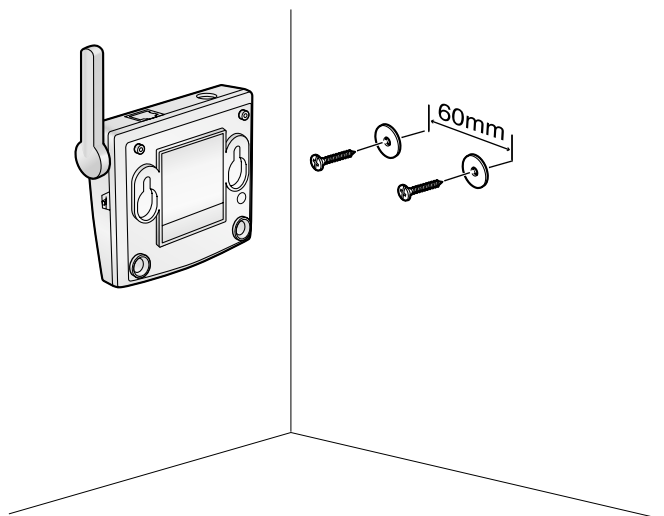
5 **再起動** をクリックして本製品を再起動する



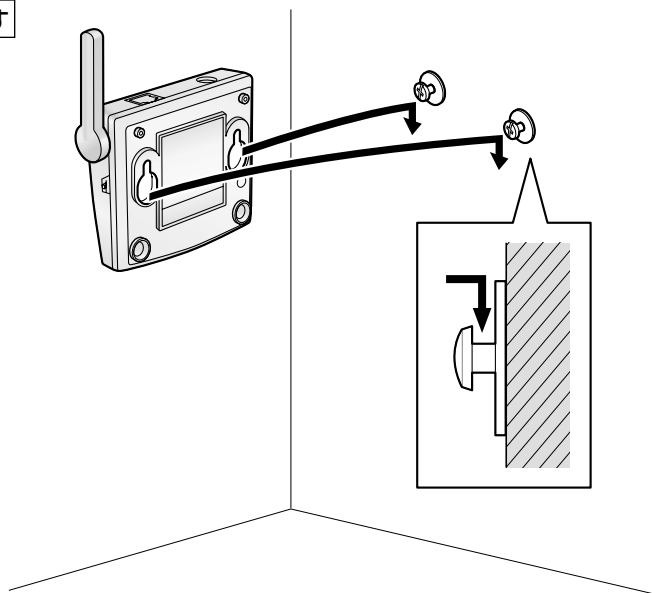
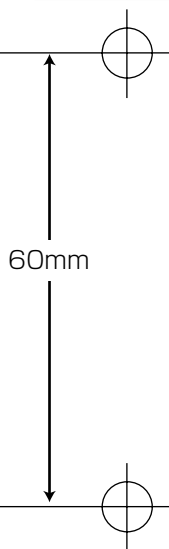
- 再起動後、メニュー画面が表示されない場合は、パソコンを再起動してください。
- バージョンアップする場合は、「ステータス表示」の「機器情報表示」画面でファームウェアのバージョンをご確認のうえ行ってください。(※ 37ページ)
- バージョンアップ後は「ステータス表示」の「機器情報表示」画面でファームウェアのバージョンが更新されていることを確認してください。(※ 37ページ)
- バージョンアップ中は、本製品およびパソコンの電源を絶対に切らないでください。

壁に掛けて使う

壁掛け寸法のめやすを使ってネジ/ワッシャー（付属品）を壁に取り付け、本製品をネジに掛けて、静かに下にすべらせる



壁掛け寸法のめやす



初期値（工場出荷値）に戻す

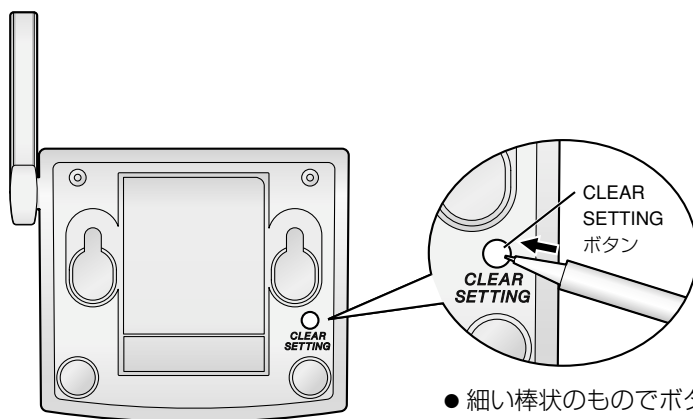
CLEAR SETTINGボタンを押すと設定した値は、初期値（工場出荷値）に戻ります。

本製品のメニュー画面にアクセスできなくなったときなどにご使用ください。

ただし、無線情報が工場出荷値に戻るので、ネットワーク機器が無線で接続できなくなります。

再度イーサネットケーブルでパソコンに接続したうえで、無線情報の設定を行ってください。（ 19～32ページ）

- 電源ONの状態で、CLEAR SETTINGボタンをボールペンの先などの細い棒状のもので約1秒押しつけてください。
- POWERインジケータがオレンジ点滅後、再度点灯します。
- POWERインジケータが点灯状態になるまで、決して電源コードを抜かないでください。



- 細い棒状のものでボタンを約1秒押しつけてください。

CLEAR SETTINGボタンは本製品の底面にあります。

故障かなと思ったとき

症 状	原因と対策
自動設定で無線情報が自動転送されない	● モード切替スイッチが「自動」になっていない。 → 切替スイッチを「自動」に切り替えて電源を再起動してください。 ● 本製品とBB-HG2000が正しく接続されていない。 → 正しく接続してください。(☞ 17ページ) ● 本製品とBB-HG2000の電源を切り、再度設定を行ってください。 ● 本製品とBB-HG2000を「動作」モードで接続した。 → 両機器からイーサネットケーブルを抜き、再度自動設定を行ってください。(☞ 17ページ) ● BB-HG2000以外のアクセスポイントを使用している → 自動設定はBB-HG2000以外はご使用になれません。
本製品のメニュー画面が表示されない	● モード切替スイッチが「手動」になっていない。 → 切替スイッチを「手動」に切り替えて電源を再起動してください。 ● 本製品とパソコンが正しく接続されていない。 → 正しく接続してください。(☞ 28ページ) ● 本製品とパソコンがルーターやハブを経由して接続している。 → 本製品とパソコンを直接イーサネットケーブルで接続してください。 ● パソコンのアプリケーションソフトウェアでファイアウォールの機能が有効となっている常駐ソフトウェアがある。 → 常駐ソフトウェアの設定でファイアウォール機能を無効にするか、本製品のIPアドレスが通過できるように設定してください。 ● 本製品のIPアドレスを変更している。 → ウェブブラウザのアドレス枠に新しいIPアドレスを入力してください。もし変更したIPアドレスを忘れた場合は、CLEAR SETTINGボタンを押し、IPアドレスを初期値(http://192.168.0.252)に戻してください。 ● パソコンのIPアドレスが設定されていない。 → パソコンのIPアドレスを192.168.0.100または192.168.0.200に設定してください。(☞ 20～25ページ) ● 無線LANアダプターにアクセスするウェブブラウザの設定が、プロキシサーバーを経由している。 → プロキシサーバーを経由しないように設定してください。(☞ 26ページ)

症 状	原因と対策
本製品のメニュー画面が表示されない	● Internet Explorerのバージョンが、5.0以前のものを使用している。 → Internet Explorerのバージョンを5.5以降にバージョンアップしてください。
ネットワーク機器が無線で接続できない	● モード切替スイッチが「動作」になっていない。 → 切替スイッチを「動作」に切り替えて電源を再起動してください。 ● 本製品とネットワーク機器が正しく接続されていない。 → 正しく接続してください。(※ 40ページ) ● 本製品の電源を入れてからネットワーク機器を接続した。 → MACアドレス引継が有効の場合、ネットワーク機器と接続する前に本製品の電源を入れるとMACアドレスを引き継ぐことができず、無線通信ができません。 ネットワーク機器と接続後に本製品の電源を入れてください。 ● 本製品に接続されたネットワーク機器からアクセスを行わない限り、無線接続は行いません。 → 本製品に接続されたネットワーク機器の電源を入れ直すなどして、ネットワーク機器からのアクセス動作を行うようにしてください。
POWERインジケータが点灯しない	● 専用のACアダプターを使用しているか確認してください。 ● 本製品の電源が入っていない。 → 電源コードが正しく接続されているか確認してください。
POWERインジケータが赤に点灯する	● 本製品が故障しています。 → お買い上げの販売店へお申しつけください。
バージョンアップが正常に完了しなかった	● バージョンアップ中に、電源オフ、その他の理由でバージョンアップが中断された。 → 再度バージョンアップを行ってください。(※ 42ページ)
無線情報を手動で設定後、パソコンがインターネットに接続できなくなった	● パソコンのIPアドレス、サブネットマスク、プロキシサーバーが変更した値になっている。 → 手動設定後、元の設定値に戻してください。

用語解説

英 字

DHCP
(Dynamic Host
Configuration Protocol)

各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、IPネットワークに関連した情報（IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど）を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。

DNS
(Domain Name System)

ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前（ドメイン名）をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、例えば“panasonic.co.jp”などがあります。

IEEE802.11b

IEEE（米国電気電子学会）の無線LANの規格。802.11は赤外線も含む無線ネットワーク全般に関する規格であり、その中の802.11bは2.4GHz帯を使用する最高11Mbpsのネットワーク規格を定めています。この規格の作成には、米国だけでなく日本やヨーロッパからも参加しています。

IPアドレス

インターネット上のすべてのネットワークインターフェースは、IPアドレスによって識別されます。そのためTCP/IPを使用して通信を行うネットワークインターフェースには、固有のIPアドレスが必要です。本製品のIPアドレスは、192.168.0.1～192.168.0.254のうちの1つです。ここで設定したIPアドレスが、手動設定時のウェブブラウザでのアクセス先アドレスとなります。

LAN
(Local Area Network)

フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。

MAC
(Media Access Control)
アドレス

イーサネットカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CCといった形式で表されます。同じMACアドレスを持つイーサネットカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。

Open System	IEEE802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、二つの認証サービスをサポートしています。Open Systemは、公開鍵暗号とも呼ばれています。
Shared Key	IEEE802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、二つの認証サービスをサポートしています。Shared Keyは、共有鍵暗号とも呼ばれ、メッセージの送信者と受信者が一組の鍵を共有し、それを用いてデータを暗号化、復号化します。
SSID	無線ネットワークグループの識別名です。無線接続をグループ分けするためのものです。「ESSID」とも言います。半角英数字記号1～32文字まで入力できます。(英字は大文字、小文字の区別があります。)自動設定ではBB-HG2000のSSIDが転送されます。
TCP/IP (Transmission Control Protocol/ Internet Protocol)	米国防総省の資金援助によるネットワークプロジェクトで開発されたネットワークプロトコルです。インターネットの標準プロトコルであり、現在最も普及しているプロトコルです。ネットワーク層プロトコルはIPで、トランスポート層プロトコルはTCP (Transmission Control Protocol)とUDP (User Datagram Protocol) の2つです。FTP、SMTPなどのアプリケーションは、TCP/IPが利用されています。
Tナビ (T - navi)	ブロードバンド回線を使ったデジタルテレビ向けの生活情報ネットワーク・サービスです。
URL (Uniform Resource Locator)	インターネット上のリソースを指定する方式です。具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「http://panasonic.jp」のことです。
WEPキー	暗号化16進数入力で0～9、A～Fおよびa～fの入力ができます。 64bitの暗号化方式を選択した場合は、10桁入力してください。128bitの暗号化方式を選択した場合は、26桁入力してください。

用語解説

WEPキーサイズ

64bit/128bitの暗号化方式が選択できます。
備考：暗号化は、64bit、128bitの順でセキュリティ強度が高くなります。
逆に、実質の通信速度は、なし、64bit、128bitの順で遅くなります。

WEP認証方式

IEEE802.11規格では、Open SystemとShared Keyの、二つの認証サービスをサポートしています。

あ

イーサネット (Ethernet)

Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。

ウェブサーバー

画像、動画、音声などをハイパーテキスト形式で蓄積し、情報を提供するファイルサーバーです。
ハイパーテキスト型情報では、情報内のテキスト文字列（ワード）が別の情報であるテキストやファイル、画像、動画、音声などにリンクしているので、それぞれのワードをマウスでクリックすると、より詳しい情報を抽出することができます。

ウェブブラウザ

ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プログラムです。
Microsoft社のInternet Explorerなどがあります。

か

ゲートウェイ

ゲートウェイは、ルーティング情報を交換しネットワークを管理しているコンピューター（ルーターなど）でネットワークのバケットの道先案内をします。
ローカルネットワーク以外への通信は、デフォルトゲートウェイを介して行われます。

さ

サブネットマスク

IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

た

ダウンロード

遠隔地にある装置側からネットワークを使用しデータを自側に分けて持ってきて保存する作業をいいます。

チャンネル

無線通信で使用できる周波数帯域のことで14チャンネル持っています。

ドメイン

インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表します。

は

パケット

通信データを一定の大きさに分割し、アドレスをつけて転送するときのデータの単位のことです。

ハブ

10/100Base-Tネットワークで用いられる集線装置です。8ポートや4ポートなど、ポート数は様々です。

バージョンアップ

本製品は、ファームウェア（本製品が動作するための基本ソフトウェア）を書き換えることができます。最新ファームウェアは、パナソニックのサポートウェブサイト <http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/> に掲示されます。

ファームウェア

本製品を動作させるプログラムです。本製品のフラッシュメモリーの中に格納されています。

ファイアウォール

インターネットを利用する際のセキュリティのひとつ。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。

用語解説

プロキシサーバー

プロキシサーバーは、コンピューターとインターネット間のセキュリティを強化したり、キャッシングによってアクセスを高速化するために使用されるサーバーです。

ブロードバンドレシーバー

ブロードバンド環境でテレビ番組ガイド(EPG)サービスを利用すると、携帯電話やパソコンから当社製DVDビデオレコーダーなどと接続して録画予約ができます。

本製品の初期値（工場出荷値）

■ 無線情報

SSID	: HGA310
WEP設定	: 無効
WEP認証方式	: Open System
WEPキーサイズ	: 64bit
標準キー	: Key 1
WEPキー1	: —
WEPキー2	: —
WEPキー3	: —
WEPキー4	: —

■ IPアドレス設定

IPアドレス	: 192.168.0.252
サブネットマスク	: 255.255.255.0
MACアドレス引継	: 有効

製品仕様

無線インターフェース

項 目	仕 様
規格	IEEE802.11b準拠、ARIBSTD-T66/RCRSTD-33
周波数	2.4GHz
チャンネル	1～14CH (オートスキャン)
データ転送速度	1Mbps,2Mbps,5.5Mbps,11Mbps
機器種別	省電力データ通信システム
有線―無線変換機能	イーサネット対応機器を無線化
アクセス方式	インフラストラクチャ (無線アクセスポイントにリンク)
セキュリティ	"WEP (Wired Equivalent Privacy) 暗号化機能 64bit/128bit"
通信飛距離	屋内見通し 120m (BB-HG2000との通信時) 屋外見通し 600m (BB-HG2000との通信時) ※ 通信距離は環境条件により変化します。 鉄筋コンクリートの建物および大型金属製品、電子レン ジの近くなどでは、通信距離が短くなることがあります。

LANインターフェース

項 目	仕 様
規格	IEEE802.3/IEEE802.3u (10BASE-T/100BASE-TX)
MDI/MDI-X	自動検知
データ転送速度	10Mbps/100Mbps
ポート数	1ポート (RJ-45コネクタ)
無線自動設定機能 無線手動設定機能	簡易DHCPクライアント機能 Webサーバー機能

マンマシンインターフェース

項 目	仕 様
LED表示	POWERインジケータ (緑/オレンジ/赤) WIRELESSインジケータ (緑) LANインジケータ (緑)
モード切替スイッチ	動作モード/自動設定モード/手動設定モード

製品仕様

対応パソコン (手動設定時)

項 目	仕 様
OS	Windows98SE/Me/2000/XP
インターフェース	10/100Mbpsの有線LANポート
メモリー	64MB以上
プロトコル	TCP/UDP/HTTP1.0
通信プロトコル	TCP/IP(DHCPクライアント接続)
ウェブブラウザ	Internet Explorer 5.5以降

その他

項 目	仕 様
ACアダプター	入力：AC100V 50/60Hz
電源	出力：DC12V, 1A
消費電力	最大約4.5W
外形寸法	W 約101 x H 約27 x D 約82 mm ※アンテナ収納状態
重量	約 100 g (本体のみ)
動作環境	温度 5～40℃、湿度 20～85% (結露なきこと)

- 本製品にはGPLでライセンスされるeCos OSソフトを含んでいます。
この件に関するお問い合わせ先
パナソニックのサポートウェブサイト
<http://panasonic.co.jp/pcc/products/hnetwk/index.html>
をご参照ください。
- 本製品にはGoAhead Software社のGoAhead WebServerソフトを含んでいます。
Copyright (c) 2002 GoAhead Software, Inc. All Rights Reserved.

保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ

お申しつけください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 其他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

修理を依頼されるとき

46～47ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまずACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へお申しつけください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この無線LANアダプターの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご連絡いただきたい内容

品 名	無線LANアダプター
品 番	BB-HGA310
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

保証とアフターサービス

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル(全国共通番号)

 **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口にご直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック

お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-365**

■ 携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等〉
ご相談窓口

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南
2丁目17-7
☎ (011)894-1251

旭川 旭川市2条通2丁目
左1号
☎ (0166)31-6151

帯広 帯広市西19条南
1丁目7-11
☎ (0155)33-8477

函館 函館市西桔梗
589番地241 (函館
流通卸センター内)
☎ (0138)48-6631

東北地区

青森 青森市第二問屋町
3-7-10
☎ (017)739-9712

秋田 秋田市御所野湯本
2丁目1-2
☎ (018)826-1600

岩手 盛岡市羽場13地割
30-3
☎ (019)639-5120

宮城 仙台市宮城野区扇町
7-4-18
☎ (022)387-1117

山形 山形市流通センター
3丁目12-2
☎ (023)641-8100

福島 福島県安達郡本宮町
字南/内65
☎ (0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町
194-20
☎ (028)689-2555

群馬 高崎市大沢町229-1
☎ (027)352-1109

茨城 つくば市花畑2丁目
8-1
☎ (0298)64-8756

埼玉 桶川市赤堀2丁目
4-2
☎ (048)728-8960

千葉 千葉市中央区
星久喜町172
☎ (043)208-6011

東京 東京都世田谷区宮坂
2丁目26-17
☎ (03)5477-9780

山梨 甲府市宝1丁目
4-13
☎ (055)222-5171

神奈川 横浜市港南区日野
5丁目3-16
☎ (045)847-9720

新潟 新潟市東明1丁目
8-14
☎ (025)286-0171

ナショナル/パナソニック 修理ご相談窓口

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町 稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683	名古屋 名古屋市中瑞穂区 塩入町8-10 ☎ (052)819-0225
富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705	岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719
福井 福井市開発4丁目 112 ☎ (0776)54-5606	岐阜 岐阜県本巣郡北方町 高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
長野 松本市大字笹賀 7600-7 ☎ (0263)86-9209	高山 高山市花岡町3丁目 82 ☎ (0577)33-0613
静岡 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000	三重 久居市森町字北谷 1920-3 ☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目 2-1 ☎ (077)582-5021	奈良 大和郡山市筒井町 800番地 ☎ (0743)59-2770
京都 京都市伏見区竹田 中川原町71-4 ☎ (075)672-9636	和歌山 和歌山市中島499-1 82 ☎ (073)475-2984
大阪 大阪市北区本庄西 1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	兵庫 神戸市中央区 琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	浜田 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629
米子 米子市米原4丁目 2-33 ☎ (0859)34-2129	岡山 岡山県都窪郡早島町 矢尾807 ☎ (086)292-1162
松江 松江市平成町 182番地14 ☎ (0852)23-1128	広島 広島市西区南観音 8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
出雲 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	山口 山口市鑄銭司 字 鑄銭司団地北447-23 ☎ (083)986-4050

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	高知 南国市岡豊町中島 331-1 ☎ (088)866-3142
徳島 徳島県板野郡北島町 鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125	愛媛 松山市土居田町 750-2 ☎ (089)971-2144

九州地区

福岡 春日市春日公園 3丁目48 ☎ (092)593-9036	宮崎 宮崎市本郷北方 字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213
佐賀 佐賀市鍋島町大字 八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	熊本 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	天草 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
大分 大分市秋原4丁目 8-35 ☎ (097)556-3815	鹿児島 鹿児島市与次郎 1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
	大島 名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11 ☎ (098)877-1207
--

所在地、電話番号が変更になることがありますので、
あらかじめご了承ください。

0503

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston,
MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT

PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type 'show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type 'show c' for details.

The hypothetical commands 'show w' and 'show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than 'show w' and 'show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

- 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可等必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.

Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検	長年ご使用の無線LANアダプターの点検を！		
	こ ん な 症 状 は あ り ま せ ん か？	● ACアダプターの電源コードが傷んでいる。 ● こげくさい臭いや異常な音が生ずる。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他の異常や故障がある。	このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品 番	BB-HGA310
販 売 店 名	☎ ()	—	
お 客 様 ご 相 談 窓 口	☎ ()	—	

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

松下電器産業株式会社
パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ブロードバンド&ソリューション事業センター

〒812-8531 福岡市博多区美野島4丁目1番62号